

<新年のご挨拶>

新年 明けましておめでとうございます。
会員の皆様におかれましては、輝かしい初春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

いよいよ平成という元号も残すところ数か月となりました。
今回の改元を機に、年号の表記方法として従来通り元号を用いるか、今後とも変える必要がなく計算にも便利な西暦を用いるかで種々の議論がなされ、運転免許証などでは両方の表記が用いられるようです。

わたくし的には、数年をくくって世相を表すのには、“大正ロマン”、“平成不況”等元号の方が適していると思いますが、皆様はいかがでしょう。

さて、昨 2018 年を表す漢字に“災”が選ばれました。この災という字は、天災や人災が多発した 2004 年にも選ばれています。

では、無線支部の今年の漢字を考えてみます。昨年 6 月の定例総会は「創立 50 周年総会」として開催しました。この総会には北海道、東海、北陸、関西、中国の無線会からご来賓の参加をいただきました。

NTT に無線部門がなくなり、各地から無線会活動終了の知らせが聞こえてくる中で、久々に（規模はともかく）全国の無線人が一堂に会することができました。無線支部にとって 2018 年は「昔の仲間が“集”い旧交を“温”めた、“豊”かな年」だったと思います。

少子化、高齢化の影響が無線会活動にも影を落としています。世の中には「少子化、高齢化こそが技術の発展を促し、時代の進歩をもたらす」との論もあります。

どうしたら各地におられる 電友会にもドコモ同友会にも未加入の元先輩、元同僚の方々に参加してもらえる活動となるか。

今年も我々の目標は明確で不変です。会員の皆様はその立場立場で知恵を出し合い、昔の TQC 活動宜しく電友会活動を活性化させていただければ幸いです。

今年も会員の皆様のご健勝とご発展を祈願して、新年のご挨拶といたします。